令和８年１１月定例会一般質問発言通告表

発言順序	１２	議席番号	１８	氏名	鈴　木　　弘　　議員	１／１

発言項目		答弁者
１　バイオマス資源を活用した地域循環型産業の構築について～「バイオマス産業都市」構想の導入を見据えて～	新聞報道で朝霧高原での新たなバイオマスプラントが開所したという記事を見た。朝霧高原で発生する家畜ふん尿等を資源として活用することに対し、大手企業が出資しているということであり、バイオマス資源活用の可能性を感じる。この民間の動きを市として支援すれば、今後、市内における畜産、農業、食品産業、エネルギーを結びつけた地域循環型産業をさらに展開できると考える。そこで伺う。 (1)　富士宮市には家畜ふん尿のほか、食品残渣、木質バイオマス、下水道汚泥などのバイオマス資源がある。これらについて年間発生量、現在の利用量（堆肥化量、農地還元量、市外搬出量、エネルギー利用量）、未利用量をどの程度把握しているか伺う。数字が分かれば示していただきたい。 (2)　現在、富士宮市において２社のバイオマスプラントが稼働していることに関して伺う。 ①　２社におけるバイオマス資源の利用量を伺う。 ②　発電される化石燃料由来ではない電力は「富士宮市ゼロカーボン推進戦略」に貢献していると思うが、この具体的な民間事業での効果を把握しているか。また、再生可能エネルギーの発電量とＣＯ２削減量等について伺う。 ③　発電された電力はどのように活用されているのか、市内で使われているのか伺う。 (3)　市は、民間企業による先進的な取組をどのように捉えているのか伺う。 (4)　市の計画を達成するには、家畜ふん尿バイオマスを含め、他の未利用バイオマス資源の活用が不可欠と考える。そのため、事業者の誘致、また関係７府省により推進されている「バイオマス産業都市」構想への取組が望まれると考えるが、市の考えを伺う。	市　　長 副 市 長 教 育 長 関係部長
２　タブレット端末を活用した投票制度の導入について	行政事務の効率化や市民サービスの向上に向けてＤＸの推進が進められている。選挙においてもタブレット端末を使った電子投票を行う自治体が増えているという。そこで伺う。 (1)　全国の自治体における導入状況について伺う。 (2)　導入した自治体の選挙事務における効果についての認識を伺う。 (3)　富士宮市においてこれまでに電子投票について調査、研究を行ったことがあるか伺う。 (4)　導入に向けた課題は何か伺う。 (5)　「富士宮市ＤＸ推進計画」の改定が控えている中、電子投票の導入を検討すべきと思うが、いかがか伺う。	市　　長 副 市 長 教 育 長 関係部長